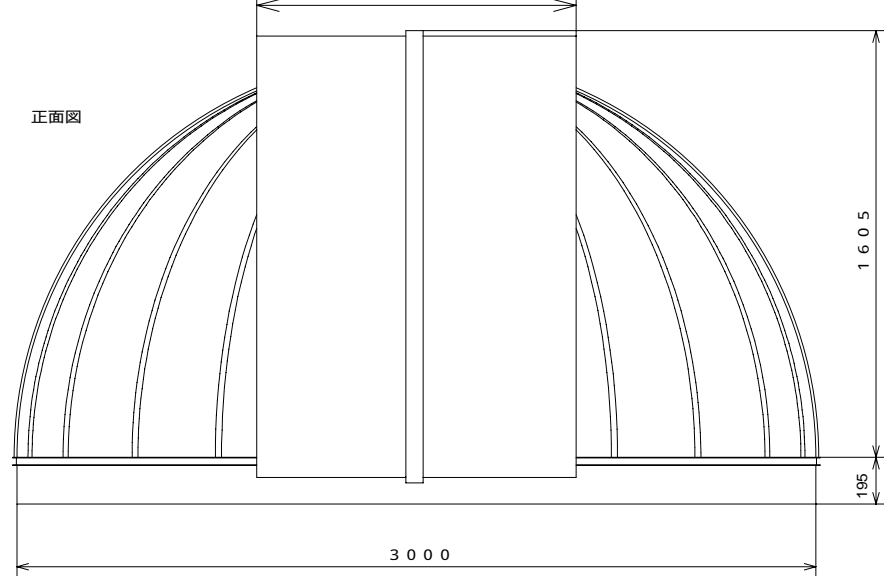
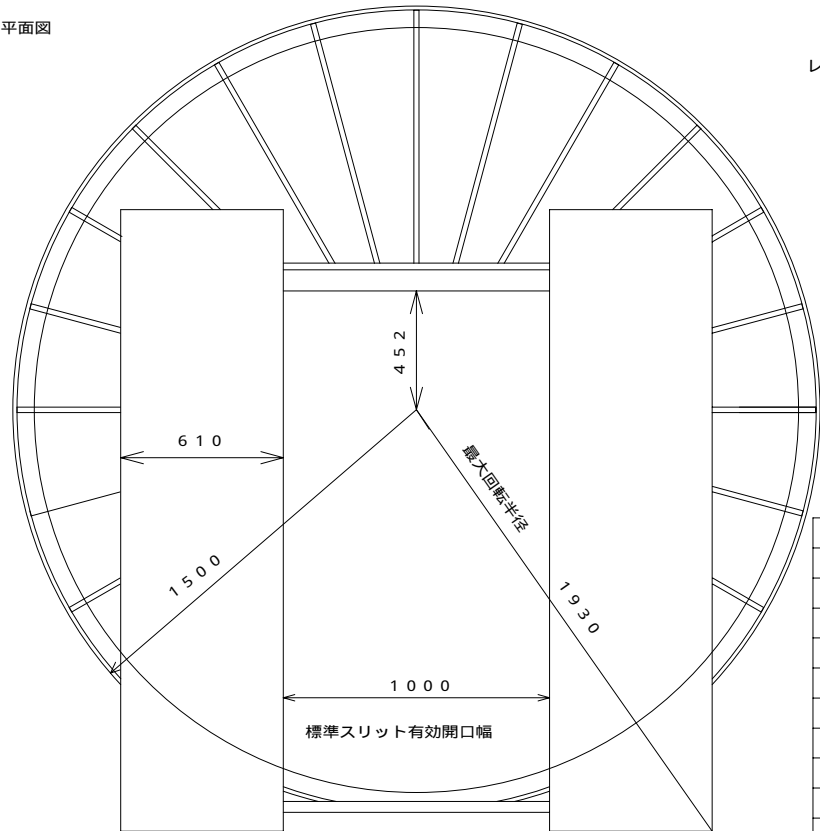


3 m ドーム基本図面

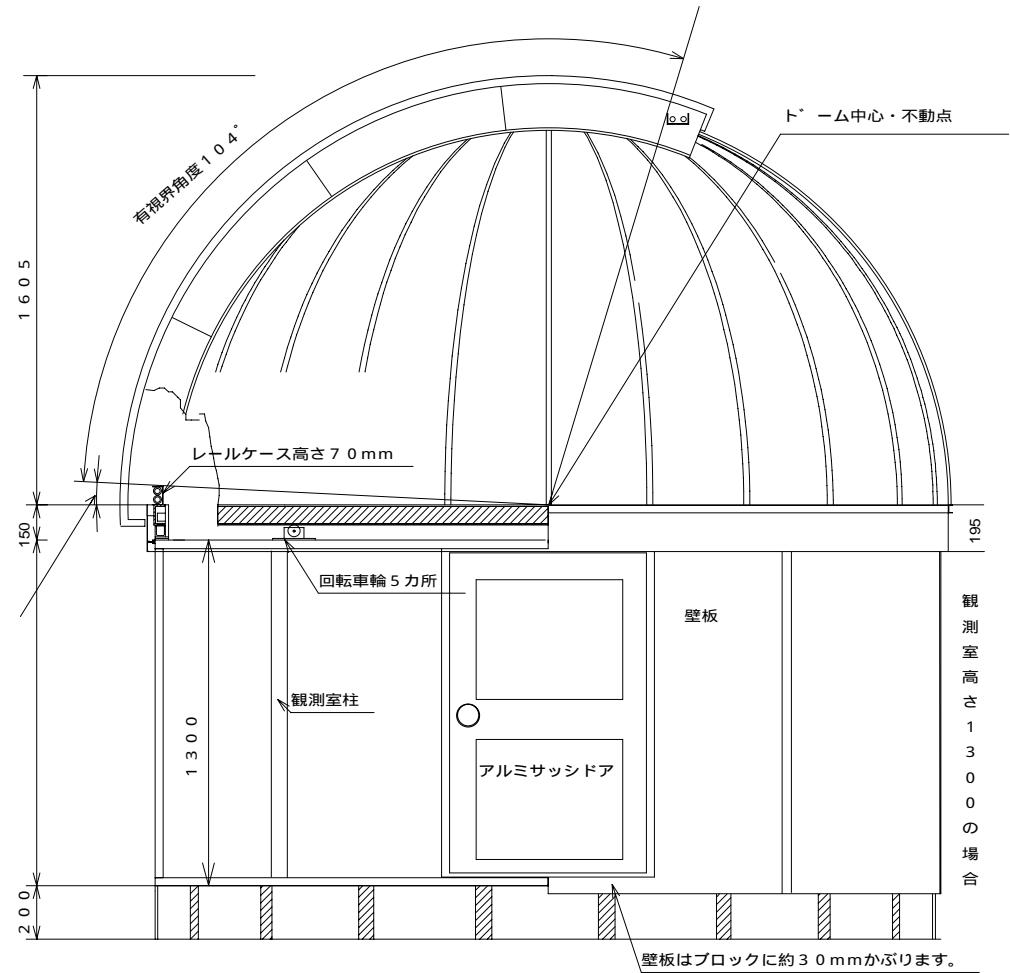


正面図

平面図



3.0 m ドーム 型丸型観測室付き図面

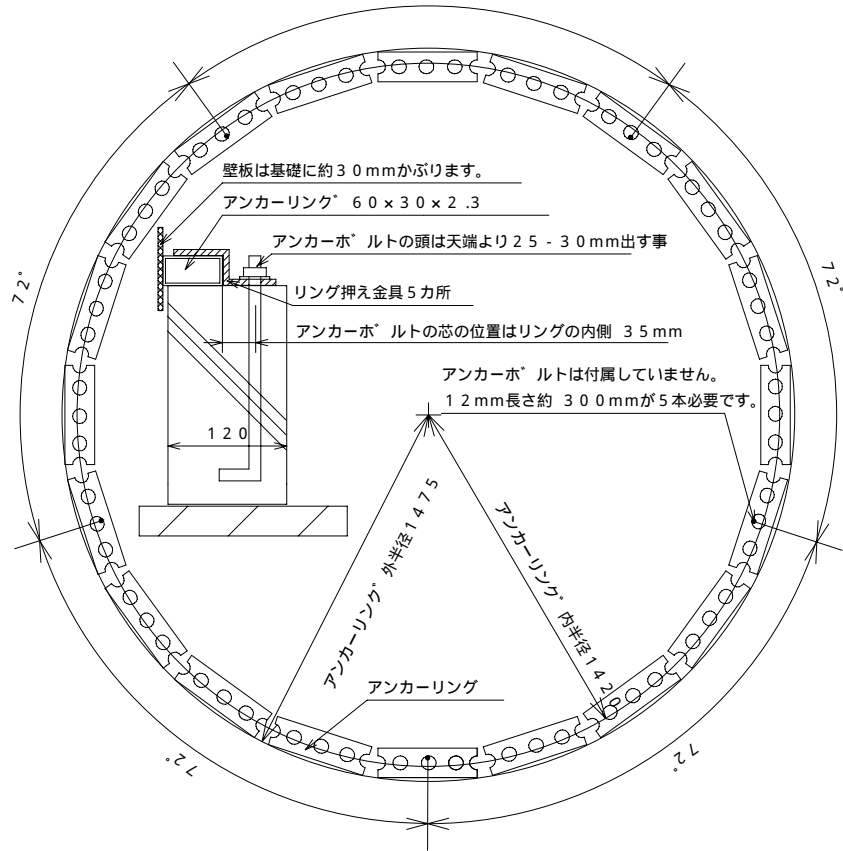


レールケースによる
ケラレ2.9°

	ドーム仕様		観測室仕様	
骨組み	軽量鉄骨製		骨組み	軽量鉄骨製
外装	18-8 (SUS304) ステンレス塗装仕上げ		丸型外装	カラー鉄板 0.8 ミリ使用、ジョイナー [®] アルミ [®] F B
骨組み塗装	鋼管は亜鉛メッキ仕上 その他の部分は常温亜鉛メッキ塗料ローバル使用		角型外装	サイジング 芯材 硬質発泡ウレタン 15 ミリ
回転車輪	M C ナイロン製	60 5 個	骨組み塗装	ドームに同じ
強風時固定金具	5 個所		観測室重量	125kg
付属品	スリットワンタッチロック、ドーム固定ドライバー			
ドーム重量	332kg			
回転用モーター	オプション	100V - 40W - 1 A		
開閉用モーター	オプション	100V - 40W - 1 A		

3.0m丸型観測室基礎図面(ブロック仕様)

72° 基礎はブロック基礎でも布基礎でもかまいません。



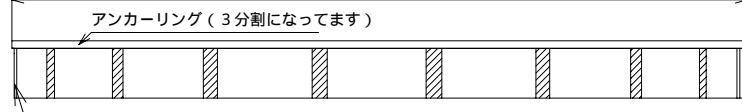
施工上の注意点

基礎はリングより絶対にはみ出ないこと

アンカーボルトの位置はリングの内側35mmでOKです。

ブロックの穴にアンカーボルトが入らない場合は左右に穴1ヶ分位ずらしても

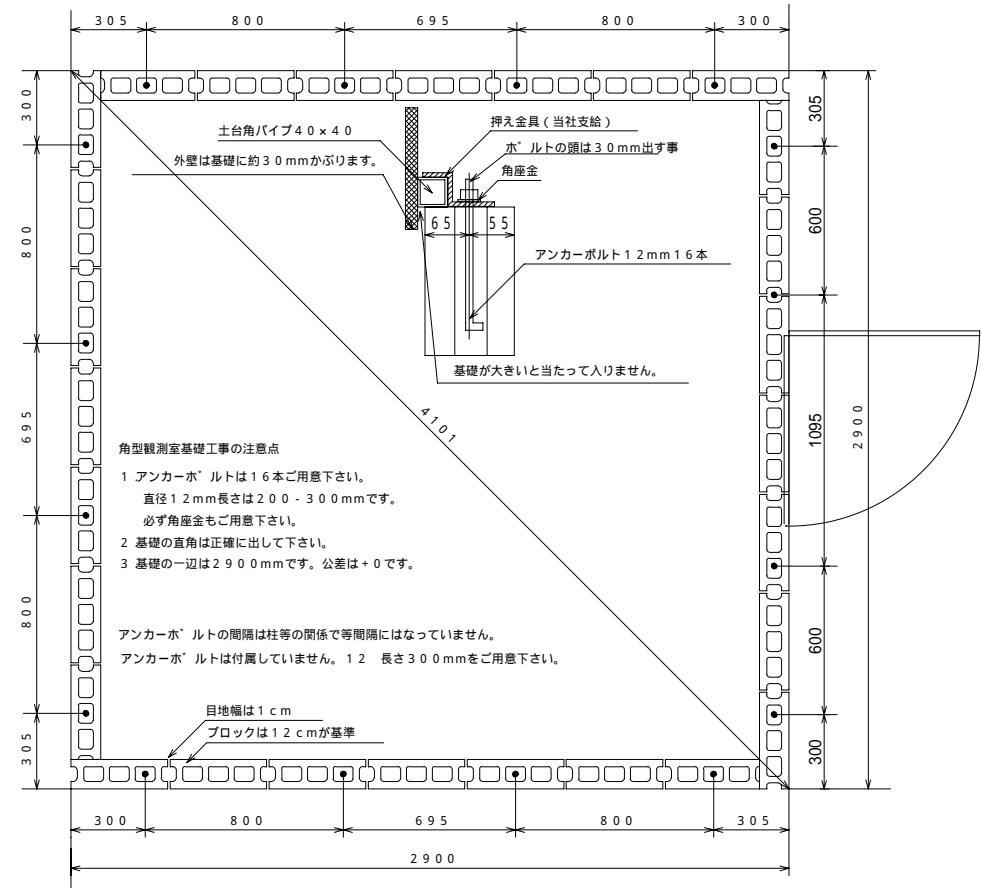
アンカーリング 外直径 2950



ブロックの外径はアンカーリングより20mm控えて2930にして下さい。

3m角型観測室基礎図面

基礎はブロック基礎でも布基礎でもかまいません。

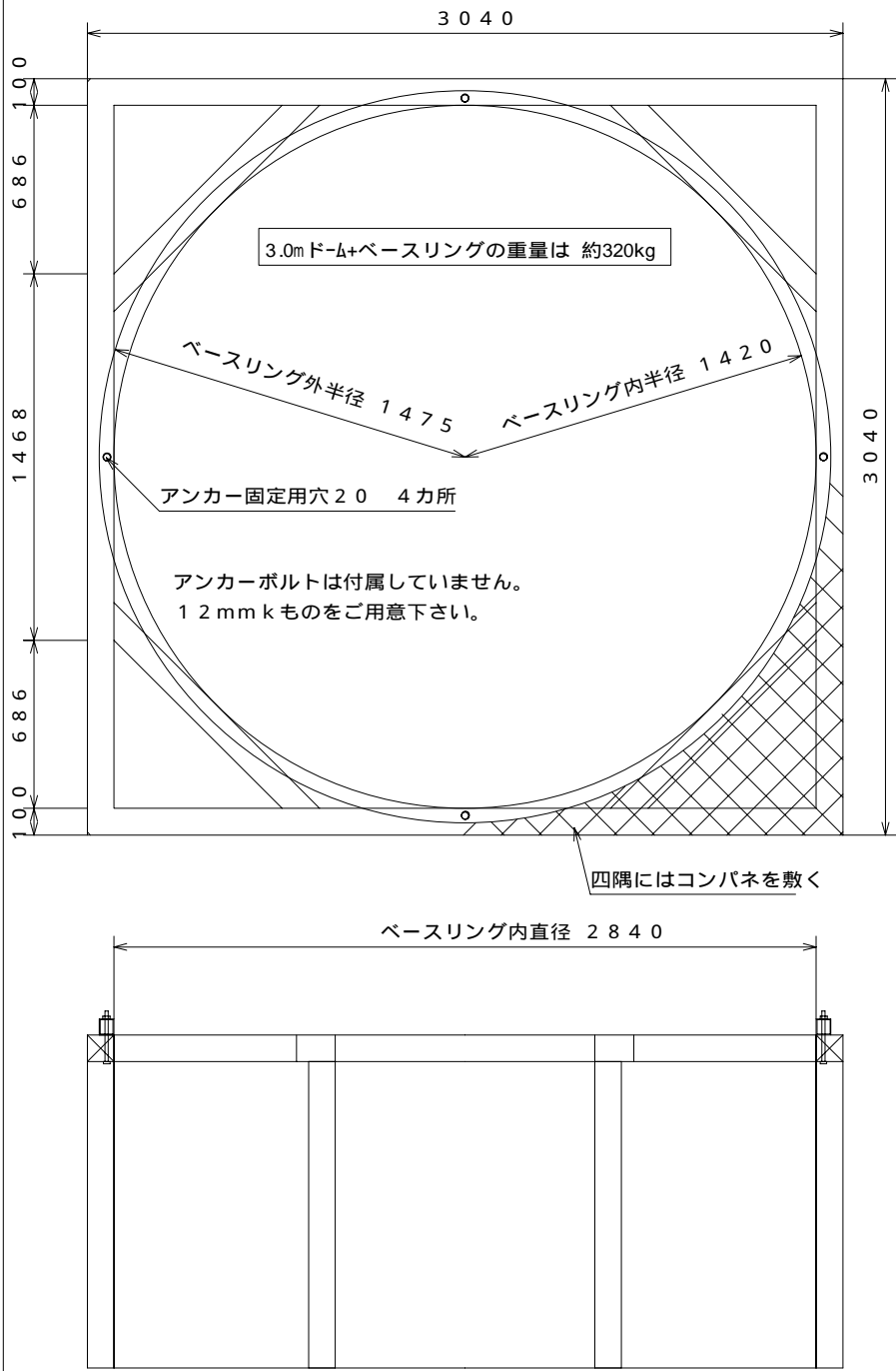


角型観測室基礎工事の注意点

- 1 アンカーボルトは16本をご用意下さい。
直径1.2mm長さは200-300mmです。
必ず角座金をご用意下さい。
- 2 基礎の直角は正確に出して下さい。
- 3 基礎の一边は2900mmです。公差は+0です。

アンカーボルトの間隔は柱等の関係で等間隔にはなっていません。
アンカーボルトは付属していません。1.2 長さ300mmをご用意下さい。

木造建物取り付け参考図 3.0 m



木造観測室製作上の注意点

- 1 まずこちらよりベースリング（外直径 2,950ミリで3分割したものを）を現場へ送ります。
- 2 ベースリングにはアンカーボルト用の穴が4カ所あいていますアンカーボルトは付いていません。
- 3 ドームとの取り付けの注意点は断面図A-Aのスカートと板金養生の隙間です。（図b）
- 4 スカートと板金の隙間は15mm程度で板金繋ぎ目を立ちあげたりするとスカートが擦ります。
- 5 アンカーボルトは内部を最大限活用するため材木の芯を内側にずらしてありますが材木の芯に持ってきて差し支えありません。（内部は少し狭くなります）図a

